

2023年4月7日

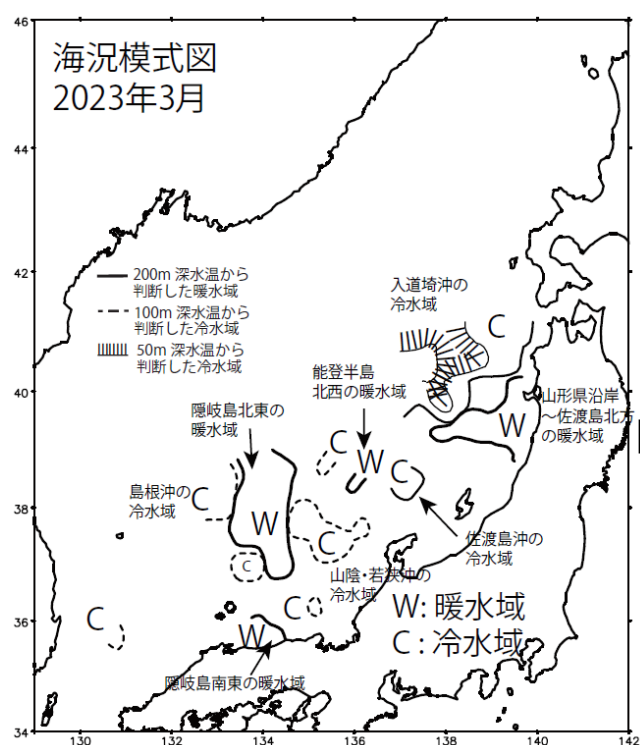
国立研究開発法人 水産研究・教育機構

2023年度 第1回 日本海海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2023年4月中旬～6月)のポイント

海況模式図
2023年3月



(註) 用語の定義は以下のとおり。
“はなはだ”：出現確率約22年に1回、“かなり”：出現確率約7年に1回
“やや”：出現確率約3年に1回、“平年並み”：出現確率約2年に1回

- 隠岐島北東の暖水域は勢力を弱めて東進し、能登半島北西に分布する。隠岐島南東の暖水域は東進し丹後半島沿岸に分布する。能登半島北西の暖水域は勢力を強めながら東進し、能登半島北方に分布する。山形県沿岸～佐渡島北方の暖水域のうち、山形県沿岸の暖水域は北上し日本海から流失するが、佐渡島北方の暖水域は定在する。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：企画調整部門（横浜） 上原

海洋環境部（新潟） 渡邊、井桁

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/>

2023年度 第1回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2023年4月中旬～6月）

- (1) 隠岐島北東の暖水域は勢力を弱めて東進し、能登半島北西に分布する。隠岐島南東の暖水域は東進し丹後半島沿岸に分布する。能登半島北西の暖水域は勢力を強めながら東進し、能登半島北方に分布する。山形県沿岸～佐渡島北方の暖水域のうち、山形県沿岸の暖水域は北上し日本海から流失するが、佐渡島北方の暖水域は定在する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“かなり高め”で経過する。

2. 経過（(1)は2022年11月～23年3月、(2)～(3)は2022年11月～23年2月、(4)は2022年11月）

- (1) 11月に隠岐島北方に見られた暖水域は勢力を拡大しつつ3月まで停滞した。11月に隠岐島東方で見られた暖水域は12月まで定在したが2月に消滅した。11月に能登半島北西に見られた暖水域は、12月は欠測により不明だったが、2・3月にも能登半島北西で確認された。11月に佐渡島北方に見られた暖水域は、12月は欠測により不明だったが、2月には山形県沿岸に勢力を拡大し、3月には定在した。12月に山口北方に暖水域が出現し、2月に消滅した。12月に青森沿岸に暖水域が出現し、2月には津軽半島西岸へ移動した後に、3月には津軽海峡から太平洋へ流失した。2月に富山湾に暖水域が出現し、3月に消滅した。3月隠岐島南東に暖水域が出現した。
- (2) 島根沖の冷水域は、11・12月は規模・接岸距離ともに平年並み、2月は規模は平年並みでやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、11月は規模は平年並みでかなり接岸、12月は規模・接岸距離ともに平年並み、2月はやや小さくかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、11月はやや小さくはなはだ離岸、12月は欠測により不明、2月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、11月はやや小さく接岸距離は平年並み、12月は欠測により不明、2月は規模は平年並みでやや接岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、11月は、対馬海峡中央部、日本海中央部で“やや高め”～“かなり高め”、津軽半島東方で“やや高め”以外は平年並み。12月は、対馬海峡、富山湾、利尻島周辺で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は、欠測により不明。2月は、山口北方で“かなり低め”～“はなはだ低め”、男鹿半島西方で“やや低め”～“かなり低め”、隠岐島周辺、若狭湾東部～能登半島西部沿岸で“やや高め”、奥尻島西方で“かなり高め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“かなり高め”。

3. 現況（2023年3月）

- (1) 暖水域は、隠岐島北東、隠岐島南東、能登半島北西、山形県沿岸～佐渡島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、はなはだ小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、やや小さく接岸距離は平年並み。佐渡沖の冷水域は、やや小さく接岸距離は平年並み。入道埼沖の冷水域は、やや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、山口北方、若狭湾北方、富山湾、佐渡島沿岸～北方で“かなり高め”～“はなはだ高め”それ以外は“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“やや高め”。

（註）引用符（ “ ” ）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| “はなはだ高め（低め）” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| “かなり高め（低め）” | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ） |
| “やや高め（低め）” | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ） |
| “平年並み” | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 新潟庁舎